

1人ひとりが避難の手順を決めるプロジェクト 事例集

【市町村名、地区名】海津市石亀地区	
【名称】防災講話「自分に合った逃げ時！」 ～今逃げなければ、自分や大切な人の命が失われる～	
【日時】令和元年8月25日（日） 10:00～12:00（2時間）	
【場所】石亀多目的集会所	
【対象者】石亀自主防災会の会員（石亀地区の自治会）	【人数】16名
<p>【取組みのきっかけ】</p> <p>岐阜県の南部、海拔ゼロメートル地帯にある海津市は、過去より水害に多く見舞われており、台風などの豪雨時における避難対策が課題となっている。また、毎年、市内各地区にて防災活動に取り組んでいるが、なかでも石亀地区は特に取組みが盛んな地域であり、住民一人ひとりが日頃から避難について考えておくことで、日頃から豪雨災害に備え、避難の実効力を高めることを目的とし、本取組みを行った。</p>	
<p>【実施までの運び】</p> <p>○主催者 海津市</p> <p>○活用した機会 直近で地区住民の集会在なかつたため、海津市が実施する防災講話を当地区で行うこととし、その場を活用して行った。</p> <p>○周知・案内 市にて広報を作成し、地区の回覧板で周知。自治会長から直接の声掛けも行った。</p> <p>○事前準備 会場準備：説明用パワーポイント、鉛筆（人数分）、 配布資料：中央防災会議 防災対策実行会議 平成30年7月豪雨による水害・土砂災害からの避難に関するGWにおける、有識者からの国民に向けたメッセージ（A4判） 災害・避難カード（A3判） ※災害・避難カードは県様式をもとにアレンジして作成。</p> <p>○当日のスタッフ等 海津市職員2名（進行1名、住民の作成支援1名）</p>	
<p>【実施内容】</p> <p>自治会長あいさつ（5分） 風水害の危険（20分） 災害・避難カードと取組みの趣旨説明（20分） カード作成のワークショップ（60分） 住民からの質疑に回答（15分）</p>	



【カードの様式】

石亀地区 災害・避難カード ～一人ひとりが考えて決める避難手順～



私の避難タイミング

気象情報	大雨に関する気象情報	警戒レベル1 早期注意情報	警戒レベル2 洪水注意報・大雨注意報等	警戒レベル3相当 警報	警戒レベル4相当 土砂災害警戒情報	警戒レベル5相当 大雨特別警報
警報の危険度分布		注意		警戒	非常に危険	極めて危険
水位情報			氾濫注意情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報(避難判断参考水位)	氾濫発生情報
避難情報				警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始	警戒レベル4 避難勧告	警戒レベル5 災害発生情報
ごしんごゆかかん	日中 夕暮れ時					

① 避難に必要な時間は？

A 安全な場所は？

<確認してきましょう！>

- イエローの外
- レッドの外
- 浸水区域の外

B 安全な場所まで片道何分（通常時）？

徒歩なら 分 / 車なら 分

C 安全な場所まで片道何分（豪雨時）？

徒歩なら 分 / 車なら 分 使用不可

D 避難を判断してから家を出るまでに何分？ 分

E 要支援者を支援するのに何分？ 分

F 避難を判断してから安全な場所まで何分？

徒歩なら 分 / 車なら 分 / 歩行時間なら 分

(B+D+E) (C+D+E)

② 誰と避難する？

誰と？	避難先は？

③ 何を持って避難する？

何を？	大きさは？	重さは？
		(合計) <input type="text"/> kg

私のまちの危険情報を知るには？

<気象情報>

- 気象情報（注意報・警報等）を知るには？
岐阜, 気象台 検索 ⇒ 岐阜地方気象台 HP

<警報の危険度分布>

- 洪水や土砂災害等の危険度の高まりを知るには？
岐阜, 気象台 検索 ⇒ 岐阜地方気象台 HP

<水位情報>

- 長良川、揖斐川の水位を知るには？
川の水位情報 検索 ⇒ 川の水位情報 HP

<避難情報>

- 海津市の避難情報を知るには？
海津市役所 検索 ⇒ 海津市 HP 「防災情報」

<その他>

岐阜地方気象台 (スマートフォン向けHP)

【取組みの状況】

○市職員により取組みを説明



○安全な場所や避難のタイミングを決める参加者



○完成した石亀地区の災害・避難カード

私の避難タイミング					
気象情報	警戒レベル1 早期注意情報	警戒レベル2 注意情報・大気注意情報	警戒レベル3相違 警戒	警戒レベル4相違 土砂災害警戒情報	警戒レベル5相違 大雨特別警報
警戒の危険度分布		注意	警戒	非常に危険	極めて危険
水位情報		注意	警戒	非常に危険	極めて危険
避難情報		注意	警戒	非常に危険	極めて危険
いつ・何をすればいいか	情報収集	情報収集	避難袋の準備 カバン	避難	避難
日中					
夕暮れ時					

① 避難に必要な時間は？	② 誰と避難する？	私のまちの危険情報を知るには？
A 安全な場所は？ (避難して大丈夫！) <input type="checkbox"/> イーローの外 <input type="checkbox"/> レッドの外 <input type="checkbox"/> 浸水区域の外	誰と？ 両親 避難は？ 娘	<気象情報> ●気象情報(注意報・警報等)を知るには？ 電話、気象台 以下 → 岐阜地方気象台 HP <警報の危険度分布> ●洪水や土砂災害等の危険度の高まりを知るには？ 電話、気象台 以下 → 岐阜地方気象台 HP
B 安全な場所まで片道何分(通常時)？ 徒歩45分 = 30分 / 車なら15分 = 5分		<水位情報> ●長良川、揖斐川の水位を知るには？ 川の水位情報 以下 → 川の水位情報 HP
C 安全な場所まで片道何分(豪雨時)？ 徒歩45分 = 90分 / 車なら15分 = 使用不可	③ 何を持って避難する？ 何を？ 避難袋 大きさ？ 42cm x 2 重さ？ 5kg ~ 7kg	<避難情報> ●海津市の避難情報を知るには？ 海津市役所 電話 → 海津市 HP 「防災情報」
D 避難を決定してから 家を出るまでに何分？ 15分		<その他>
E 要支援者を支援するのに何分？ 45分		
BDE 80分 CDE 150分		

【今後の展開】

当地区の事例をモデルとし他地区の自治会長に説明することで、取組みの必要性を理解してもらう。同様の取組みを市内全体で実施する。